

## 学習計画（シラバス）

教科	科目	対象学年	単位数	教科書 著書・発行所	使用教材・発行所
芸術	音楽	1	2	「MOUSA 1」 小原 光一ほか7名（教育芸術社）	
指導の重点	<p>1 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>2 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>3 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>				
評価の観点	知識・技能	表現意図をもって、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	音楽活動を通して、音や音楽のよさや美しさなどを感じ取るとともに、表現意図をもって音楽で表したり、味わって聴こうとしている。			
学習の評価	<p>1 学期末のまとめテストや実技テストで「知識・理解」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>2 授業中のペアワークやグループワーク、発表、提出レポート等で「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>3 課題提出で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>4 上記の1～3で総合的に年間の評価を行う。</p>				
学期	単元	学習内容	学習の目標		
1 学期	歌唱 I	校歌 翼をください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関りについて理解している。</li> <li>・ 作曲者、作詞者の意図を理解しながら、表情豊かに歌っている。</li> <li>・ 声を出すことの喜びや楽しさを自分なりに感じながら歌うことができる。</li> </ul>		
	音楽理論 I	中学校までの既習事項の復習 歌唱 I の関連事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽譜を見て歌ったり、演奏したりするために必要な知識を身に付けている。</li> <li>・ 知らないことを積極的に仲間と共に知ろうとしている。</li> </ul>		
	鑑賞 I	組曲《動物の謝肉祭》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲の雰囲気や表情が音楽の構造とどのように関わっているのか理解している。</li> <li>・ 音楽のよさや美しさを自ら感じ取り文章にすることができる。</li> <li>・ 音楽の特徴と文化的・歴史的背景に興味をもって鑑賞し、文章にまとめたことを発表することができる。</li> </ul>		
2 学期	イタリア歌曲	「Caro mio ben」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲中に出てくる楽語や速度記号などと曲想の関りについて理解して歌うことができる。</li> <li>・ 曲の性格をとらえ、ふさわしい表現を創意工夫して歌うことができる。</li> <li>・ 歌ったり互いに聴き合ったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。</li> </ul>		
	バレエ音楽	「火の鳥」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作曲家や楽曲の背景について知識を深めようとしている。</li> <li>・ 音楽に描かれている情景と音楽を形づくっている要素との関りについてレポートにまとめることができる。</li> <li>・ 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きに注目しながら鑑賞している。</li> </ul>		
	音楽に対する視野の拡大	この道、Lemon オーシャンゼリゼ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲について調べたり意見を交換したりして曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解しようとしている。</li> <li>・ 曲の性格をとらえ、それぞれにふさわしい表現を身に付けている。</li> <li>・ 自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。</li> </ul>		
	楽典	音符と休符	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音符と休符の種類、長さの割合について理解している。</li> <li>・ 音符や休符を式を使って表すことができる。</li> <li>・ 音符と休符を使って、自分がイメージするリズムを創作することができる。</li> </ul>		
3 学期	ドイツ歌曲	Heidenröslein (シューベルト/ヴェルナー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付けている。</li> <li>・ 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。</li> <li>・ 自己のイメージをもって、それぞれにふさわしい歌唱表現を創意工夫している。</li> </ul>		
	鑑賞 II	モーツァルトの生涯と作品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作曲家モーツァルトについての生涯と音楽の特徴について理解を深めようとしている。</li> <li>・ 作曲家の曲や演奏に対する評価とその根拠について述べるができる。</li> <li>・ 作曲家の音楽の特徴と文化的・歴史的背景についてそれらの関りを理解している。</li> </ul>		
	世界の諸民族の音楽を知る	鑑賞：「世界の諸民族の音楽」 歌唱：京畿道アリラン/美しいエンメンタール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の諸民族の音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。</li> <li>・ それぞれの音楽表現の共通性や固有性について気付いたことや考えたことを述べ合い、理解を深めようとしている。</li> <li>・ アリランとヨーデルの声の音色、リズム、旋律などの特徴を理解し、曲にふさわしい発声で歌い、表現に必要な技能を身に付けている。</li> </ul>		